

市民俳歌柳壇

応募方法

1人に付き俳句3句、短歌3首、川柳3句以内。未発表作品に限ります。はがきに、作品・住所・氏名(ふりがな)・応募する壇名を書き、〒320-8540市役所広報広聴課へ。俳句・短歌・川柳の併記は不可。毎月20日締め切り。☎広報広聴課(632)2026

安野登美子 選

横雲に未だ陽の残る故郷へ続くこの道カ
ナは燃ゆる

八溝嶺の秋風にのり翁逝く羅漢
のごとき笑みを含みて

雀の宮1丁目 杉山 陽子

絵手紙のひらがな大きく書かれ
ゐて一年生の便りが届く

鶴田町 問庭 ツル

車窓より手が届くがに合歡の
花あはあはと咲き甲州の旅

花園町 磯 京子

今泉町 小林 静

あれもよしこれもよしとて満足
を数えあげつつ今日も暮らさむ

本丸町 青柳フジ子

ちぎり絵のちぎる爪の間血の滲
む和紙に染まるや幾ぞ直しつ

中岡本町 五味田ユリ子

競ひ咲く百日紅を傘にして居
並ぶ地蔵微笑みて見ゆ

宮本町 村松 義

選評 「横雲に未だ陽の残る故郷へ」のたみこみとしらへのよきの上の句。また、ひそやかな郷愁の下の句。「この道はいつか来た道」と口ずさみたくなるような詩情がある。「カナは燃ゆる」の言いきった結句に目を見はる。

久々に妻と語りつつ散歩せし合はせ
し歩幅今は懐かし

江曾島町 長谷川 昇

何時迄も生きてるかぎり忘れぬ母
が遺せし帯の秋草

西3丁目 杉山 富子

朝霧の深きを分けて幻想の霧
のをみなの姿求めつ

西川田2丁目 小林あい子

ジュニア歌壇

うんどうかい はしてはして びりっ
けつ らいねんこそは いっとうしょう

姿川第一小 関谷 優里

梅の木や梅雨が過ぎ去り久方の葉と
枝だけの夏が来たかな

横川東小 塚原 健生

体育館ひびくシャトルの心地よさ
スマッシュ決めてガッツポーズ

清原中 野沢 遥花

ジュニア柳壇

空の下深めた絆忘れぬ

城山中 安藤 了大

心臓が僕より前に走ってる

城山中 安納 美優

どの組も笑顔はみんな一等賞

城山中 宮岸 由佳

ジュニア俳壇

どんぐりが頭の上に落っこった

新田小 熊倉 美穂

元気よくピアノの音がはずむ秋

上戸祭小 江原 千晶

秋のクリ土に落ちたら拾われる

陽光小 野口 陽真

荒井宗明 選

予報士の目へ台風も目を逸らす

総裁の椅子取りごっこきりもなや

平松町 木村 恭子

昨日今日あしたへ続く夢がない

南町 小島 澄子

外国の騒ぎへ土俵崩れ出し

一の沢2丁目 斎藤 静男

駒生町 相川 澄水

割箸を割箸とせぬ芸達者

峰町 岡田 俊光

スタートに着いて待ってる消費税

東原町 渡辺 康守

国訛り一味違つ芋煮会

下栗町 大塚 栄子

選評 台風銀座と言われる日本だが、珍しく今年夏は夏台風がなかった。少し物足りない気もするが、台風は招かれざる客で、どこでも歓迎はされないだろう。台風に聞くと、最近では予報士の目が気になって、と言ったのだが、本当だろうか？

カルガモの親子へ車停められる

西3丁目 江部 政司

赤字線地方の意地を守られる

鶴田町 寺内 伸弥

運転手だけが乗ってる路線バス

中岡本町 中沢 智子

橋本昭次 選

菩提寺は畑の真中稲の秋

花柄の便箋選ぶ葉月かな

氷室町 湯沢 くに

どの家も同じ小さな夜長の灯

今泉町 斎藤テルヨ

十六夜の生徒今夜も遅刻かな

雀の宮2丁目 松本きよ子

緑2丁目 横尾 静子

秩父路で釣瓶落としを追い抜けず

岩曾町 毛利 主税

厄日すぎ電池が切れてしまひけり

鶴田町 松本 光子

青空に近づきて咲く桜の木

横山2丁目 福田 悦子

選評 黄金色の稲の秋が豊かである。その真ん中にゆったりとした佇まいを見せている菩提寺。数世代にも渡る付き合い、緑の繋がり、そんなものを感じ心の拠り所と模する。それが菩提寺。真中が象徴的でない。

マンマンデーまたよし秋の日を歩く

今泉町 木村 定男

鯛雲秋刀魚が一尾減ってる

中戸祭1丁目 中山 行人

畝立てて大根育つ風男体

花園町 布施美耶子

ありがとうございます(敬称略) 善意銀行へ 宝木2 2自治会 釜井台二区自治会 手話サ
ークル虹 V.Gすずめ ボーイスカウト河内第1団 深谷電工C SR事務局 柗木県医薬品配置協会
益子西クリニックスタッフ一同 宇都宮市母子寡婦連合会東地区 SDOサポート27 キョーワコーポ
レーション東図書館清掃係一同 マンショングランドハイツ睦町 サン・カルチャークラブ ラージボー
ル卓球 ふるさとジョアン。☎市社会福祉協議会(636)1215